

市政に関する 一般質問

27名の議員が
一般質問を行いました。
質問した議員が選んだ1問を
掲載しています。

会派名	議員氏名	中継映像の 2次元コード
一般質問の表題	質問の 順 番	
問	通告の要約	
答	答弁者	
	答弁の要約	
	通告事項の要約	
質問	※2次元コードから各議員の 中継映像がご覧いただけます	



初雁自由政令会 小林 範子
オーバーツーリズムの今後 2



問 令和6年度にオーバーツーリズム対策を実施してきた中で見えてきた課題を踏まえ、今後の事業をどのように進めていくのか伺いたい。

答 産業観光部長 改めて地域の住民、事業者との協議や観光関連団体等の連携が必要であり、行政、地域住民や商店街などの関係者が共通認識の下、取り組んでいくことが大変重要であると認識したところである。これを踏まえ、今後は住民、商店街、観光関連団体等の幅広い地域関係者との協議に重点を置き、地域全体でオーバーツーリズム対策を継続的に推進していく必要があると考えている。

〔調〕オーバーツーリズム対策



川越志政会 松本 きみ
多胎児支援について 4



問 多胎児支援について、今後の市の取り組みを伺いたい。

答 子ども未来部長 令和7年度から従来の母子健康手帳に加え、サポートガイドブックと記録ノートからなるふたご手帖を配布する予定である。ふたご手帖は、多胎児家庭に役立つアドバイスが記載されており、母親の身体変化と双子の成長・発達が記録できるものである。ふたご手帖の活用により、多胎妊婦やその家族が出産や育児のイメージが持てるよう相談支援を充実させるとともに、多胎児家庭に必要な情報について、ホームページなどを通じて分かりやすい情報発信に努める。

〔調〕多胎児支援



初雁自由政令会 小島 洋一
ラーケーションについて 1



問 ラーケーションの導入に関して、教育委員会の考え方を伺う。

答 学校教育部長 教育委員会としては、学校現場や保護者等を含め幅広く理解をしてもらう必要があるものと考えていることから、先行自治体の実施状況や、その成果と課題、本市のこどもたちの家庭状況の移り変わりなどを注視していきたいと考えている。



〔調〕ラーケーション

〔調〕都市公園・児童遊園



初雁自由政令会 牛窪 喜史
児童生徒デジタル環境整備 3



問 さまざまなニーズを持つ児童生徒に対して、個別最適な学びや誰一人取り残さない学びを実践していくためのデジタル環境の整備が必要と考えるが、教育長の見解は。

答 教育長 児童生徒に寄り添った指導や支援を実施するためには、教員や管理職、教育委員会職員など関わる職員が児童生徒に関する情報を適切に把握することが重要であると考えている。デジタル環境を整備し、児童生徒に関するデータベースを構築することは、日々の教育活動で蓄積される児童生徒の指導や支援に関する情報の適切な把握および効果的な活用資するものであると考えており、本市に適した環境整備に向けて調整していく。

〔調〕学習者用コンピュータ



初雁自由政令会 海沼 秀幸
大東地域の道路整備の促進 5



問 西武安比奈線鉄道敷の道路化と並行しつつ、入間川街道から国道16号や南大塚駅に進入しやすくするために、大袋新田の市道0067号線の拡幅整備を行うべきでは？

答 宮本副市長 市道0067号線は、入間川街道から国道16号南台二丁目交差点までの間を拡幅整備することにより、国道16号を横断し、南大塚駅北口方面への通行が可能となると考えられることから、交通円滑化や生活環境の改善などの効果があると認識している。市としては、舗装工事など適切な道路環境の整備に努めているが、今後、拡幅整備には関係地権者と地域の協力が不可欠であり、地域の人々と連携しながら、その課題解決に努めたい。

〔調〕大東地域の道路課題

〔調〕河川空間のオープン化